

学校法人朴沢学園中期経営計画進捗報告(第2回、2020(令和2)年度)

中期経営計画期間は2019(令和元)年度から5年間であり、初年度の進捗を下記のとおり報告するものである。

(評価 ○:評価有 △:評価不十分 ×:未実施)

目標	進捗		次年度以降取組
	評価	概要	
<全体>			
○学生・生徒確保 (大学:入学定員×1.15) (高校:入学定員)	△	①大学:647名、入学定員×1.15 ②高校:322名入学<入学定員(330名)	①HP等による情報発信力の強化 ②高大接続、附属高校化 ③教職員によるブランド力強化
<個別・大学>			
1. 教育・研究			
(1)カリキュラム改革	○	○カリキュラム改革として学科単位の授業科目の整理、およびコード付番による授業科目体系の明確化を図った。	○新カリキュラムで取り組む。
(2)教員養成の強化	○	○「教採塾」を通し教員養成を行った。 (令和2年度62名 含既卒)	○「教採塾」の深化を図っていく。
(3)英語教育改革	○	○プレースメントテスト、習熟度教育を実施し改革の深化を図った。	○修学意欲促進策の推進を図る。
(4)UNIVASへの積極的取り組み	△	①組織作りを実施した。 ②「スポーツソムリエ」の具体化は次年度以降の実施 ③情報発信力強化(専用HP「仙スポ」)	①継続して具体的な取り組み実施 ②「スポーツソムリエ」の具体化
(5)高校・大学の7年教育の取り組み	○	①附属高校化認可 ②7年教育前提の人員配置	○実効性のある取り組みとして学生・生徒確保の実現
2. 東京オリンピック・パラリンピックへの取り組み			
(1)オリンピック・パラリンピック選手輩出	△	○全学的に取り組み中	○継続して全学的に取り組む選手輩出の実現
(2)ホストタウン招聘	○	○ホストタウン事業への協力としての親善大使活動支援を継続した。	○コロナ感染状況次第であるがホストタウン事業を継続していく。
(3)ポスト東京を睨んだ大学教員の指導者派遣	×	○コロナ禍で未取り組み	○コロナ感染状況を見定めて取り組む。

3. 地域連携			
(1)宮城県支援事業を通じた地域連携	○	○大河原町、白石市、岩沼市連携実施	○継続して拡大取り組み実施
(2)プロスポーツとのアカデミックパートナー連携	○	○仙台89ERS,ベガルタ仙台、楽天野団と実施	○継続して拡大取り組み実施
(3)近隣市町村との連携	○	○現場実習を兼ね高齢者介護予防、成人の健康実践指導実践	○継続して取り組み実施
(4)民間企業等と連携	○	○JAXA.アイリスオーヤマ、リコージャパン等と職場内健康問題等解決連携	○継続して連携拡大取り組み実施
4. 国際交流			
(1)学生の提携大学等への派遣	×	○コロナ禍で進展せず。	○継続して取り組み実施
(2)新たな提携先拡大	△	○アジア、オセアニア地区を中心に交流拡大模索	○継続して取り組み実施
5. 学生募集・就職支援			
(1)学生募集の強化	△	○コロナ禍でWebオープンキャンパス等を実施するもの例年に比べ大幅機会縮小	○WEB出願等の実現を図るとともに強化策の継続取り組み実施
(2)就職支援の強化	○	○就職支援取り組み時期の繰り上げ開始実施	○継続して強化策の取り組み実施
6. 研究費の外部資金獲得	△	○十分な実績を上げることができなかった。	○継続して獲得を目指す。
7. 施設整備			
(1)陸上競技場2レーン増設工事	○	○竣工	
(2)野球場の人工芝化	○	○竣工	
(3)川平地区再整備事業 (仙台地区拠点)	○	○第一期建築工事(学校法人朴沢学園川平キャンパス)竣工	○第二期(開発、建築)工事開始
＜個別・高校＞			
(1)学科再編の実行	○	○新学科(スポーツ創志科)新設	○魅力ある学校作りを継続して取り組み実践
(2)大学の連携強化	○	①仙台大学附属高校初年度開始 ②大学教員の配置開始	○継続し7年教育の取り組み実践

＜個別・法人＞			
(1)コンプライアンス重視の職場づくり	○	①諸規定整備への継続的取り組み ②関連法律等改正への適時対応	○継続した取り組み実践
(2)安定した継続可能な財務基盤の構築	○	○「事業活動収支見込み」に則している。	○継続して改善を図っていく。
(3)川平地区再整備事業の実施	○	○第一期工事は、2021年4月供用開始した。	○第二期工事に着手した。
(4)創立140周年事業の実施	○	①記念式典、関連歴史編纂 ②裁縫教育資料データベースの新設 ③創立140周年記念募金活動開始 (令和元年12月～)	○継続して募金活動の実施

事業活動収支見込み

(単位:人、百万円)

			令和2年度決算(A)	中期計画(令和2年度 B)	A-B
学生数/生徒数	大学/大学院	学生数(*1)	2,629	2,647	△ 18
		(収容定員)	(2,402)	(2,402)	0
	高校	生徒数(*1)	832	860	△ 28
		(入学定員×3 :*2)	(990)	(990)	0
教育活動収支	教育活動収入		4,642	4,576	66
		学納金	3,622	3,666	△ 44
		経常費等補助金	806	658	148
	教育活動支出		4,575	4,520	55
		人件費	2,751	2,850	△ 99
		教育研究費	1,399	1,232	167
		管理経費	415	429	△ 14
教育活動収支差額		67	56	11	
教育活動外収支	教育活動外収入		2	3	△ 1
		受取利息・配当金	2	3	△ 1
	教育活動外支出		10	14	△ 4
		借入金等利息	10	14	△ 4
	教育活動外収支差額		△ 8	△ 11	3
経常収支差額		59	45	14	
特別収支差額		△ 7	△ 18	11	
基本金組入前当年度収支差額		52	27	25	

*1:在籍者数(5/1)を中退率で補正 *2:令和2年4月 入学定員(330名)変更